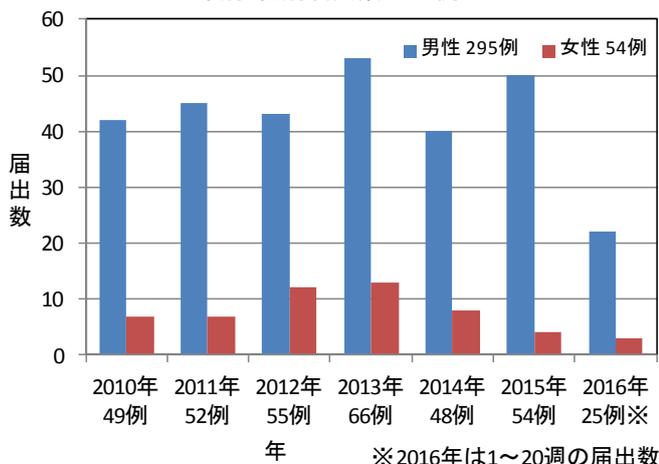


アメーバ赤痢

千葉県では、2016年20週に2例の届出があり、2016年1～20週の累計は25例となった。年別では、2010年49例、2011年52例、2012年55例、2013年66例、2014年48例、2015年54例、2016年1～20週に25例の届出があった(図、表)。年別の同時期(1～20週)の届出数は、2010年20例、2011年22例、2012年20例、2013年27例、2014年9例、2015年19例であり、2016年は届出が多くなっている。そこで2010年～2016年20週に届出された349例の発生動向をまとめた。

図 2010年～2016年20週千葉県のアメーバ赤痢年別・性別届出数 349例



性別は、男性295例(84.5%)、女性54例(15.5%)で男性が多い(表)。

年齢群別では、30代～60代が294例で84.2%を占めた(表)。

表 2010年～2016年20週千葉県のアメーバ赤痢性別・年齢群別・年別届出数

	2010年		2011年		2012年		2013年		2014年		2015年		2016年		合計		
	届出数	%	届出数	%													
性別	男性	42	85.7	45	86.5	43	78.2	53	80.3	40	83.3	50	92.6	22	88.0	295	84.5
	女性	7	14.3	7	13.5	12	21.8	13	19.7	8	16.7	4	7.4	3	12.0	54	15.5
年齢群	10代	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	1.5	0	0.0	2	3.7	0	0.0	3	0.9
	20代	3	6.1	4	7.7	5	9.1	4	6.1	0	0.0	2	3.7	1	4.0	19	5.4
	30代	12	24.5	11	21.2	13	23.6	11	16.7	6	12.5	10	18.5	1	4.0	64	18.3
	40代	12	24.5	11	21.2	10	18.2	22	33.3	16	33.3	14	25.9	8	32.0	93	26.6
	50代	11	22.4	13	25.0	5	9.1	11	16.7	10	20.8	11	20.4	10	40.0	71	20.3
	60代	6	12.2	10	19.2	14	25.5	14	21.2	10	20.8	8	14.8	4	16.0	66	18.9
	70代	5	10.2	2	3.8	7	12.7	1	1.5	5	10.4	2	3.7	1	4.0	23	6.6
	80代	0	0.0	1	1.9	1	1.8	2	3.0	0	0.0	5	9.3	0	0.0	9	2.6
	90代	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.1	0	0.0	0	0.0	1	0.3
合計	49	100.0	52	100.0	55	100.0	66	100.0	48	100.0	54	100.0	25	100.0	349	100.0	

病型別では、腸管アメーバ症310例(88.8%)、腸管外アメーバ症33例(9.5%)、腸管及び腸管外アメーバ症6例(1.7%)であった。

症状等は、下痢200例(57.3%)、粘血便200例(57.3%)、腹痛105例(30.1%)、しぶり腹68例(19.5%)、発熱56例(16.0%)、大腸粘膜異常所見53例(15.2%)、肝膿瘍38例(10.9%)、その他(便潜血)23例(6.6%)、右季肋部痛16例(4.6%)、鼓腸12例(3.4%)、肝腫大4例(1.1%)、腹膜炎3例(0.9%)、胸膜炎1例(0.3%)であった(複数報告あり)。

診断方法は、鏡検による病原体の検出283例(81.1%)、血清抗体の検出80例(22.9%)、ELISA法による病原体抗原の検出1例(0.3%)、検体から直接のPCR法による病原体遺伝子の検出1例(0.3%)であった(複数報告あり)。

感染経路として推定または確定されたのは、不明157例(45.0%)、経口感染106例(30.4%)、性的接触(異性間)46例(13.2%)、性的接触(性交)43例(12.3%)、性的接触(同性間)18例(5.2%)、性的接触(経口)15例(4.3%)、性的接触(不明)11例(3.2%)であった(複数報告あり)。

感染地域として推定または確定されたのは、国内291例(83.4%)、国外57例(16.3%)、不明4例(1.1%)であった(複数報告あり)。